



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 トレーディア株式会社

コード番号 9365 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古郡 勝英

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長

(氏名) 山口 勝

TEL 078-391-7170

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 3,466 | 2.8 | △11 | — | 9 | — | 49 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 3,373 | 0.6 | △49 | — | △38 | — | △22 | — |

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 111百万円 (483.6%) 27年3月期第1四半期 19百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 3.41 | — |
| 27年3月期第1四半期 | △1.50 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 10,087 | — | 2,636 | — | 26.1 | — |
| 27年3月期 | 9,972 | — | 2,599 | — | 26.1 | — |

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 2,636百万円 27年3月期 2,599百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | — | — | 5.00 | 5.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 7,180 | 2.4 | 45 | 5.2 | 50 | △7.5 | 57 | 63.4 | 3.88 |
| 通期 | 14,520 | 1.4 | 150 | 69.9 | 150 | 1.7 | 120 | 32.6 | 8.18 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付書類P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 28年3月期1Q | 14,700,000 株 | 27年3月期 | 14,700,000 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 28年3月期1Q | 43,350 株 | 27年3月期 | 42,846 株 |
|----------|----------|--------|----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年3月期1Q | 14,656,650 株 | 27年3月期1Q | 14,657,751 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を受けております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日本銀行による金融緩和政策により、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国経済の成長鈍化やギリシャの債務問題等、海外景気の下振れが引き続き景気を下押しするリスクとなっており、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応するとともに、積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期間比2.3%減少しましたが、売上高は34億66百万円余(対前年同期間93百万円余増)となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことにより、営業総利益は前年同期間比23.3%増加し2億46百万円余(対前年同期間46百万円余増)となりました。営業損失は、11百万円余(前年同期間は営業損失49百万円余)、経常利益は9百万円余(前年同期間は経常損失38百万円余)の計上となりました。特別損益では、出資金売却益を64百万円余計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円余(前年同期間は親会社株主に帰属する四半期純損失22百万円余)の計上となっております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、機械機器製品が減少しましたが、雑貨が増加したことにより、輸出部門の売上高は前年同期間比12.9%増加し8億75百万円余、セグメント損失は23百万円余(前年同期間はセグメント損失42百万円余)の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、雑貨が減少したことにより、輸入部門の売上高は前年同期間比3.4%減少し12億63百万円余、セグメント損失は15百万円余(前年同期間はセグメント損失37百万円余)の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、国際輸出は、米国及びメキシコ向け機械部品が好調に推移したことに加え、東南アジア向けの建材、自動車部品の取扱いを伸ばしたため、国際輸出部門の売上高は前年同期間比15.0%増加し3億99百万円余の計上となりました。国際輸入は、東南アジアからの輸入は堅調に推移しましたが、中国市場の落ち込みによる繊維、雑貨品が減少したことや、円安傾向継続による輸入貨物の取扱いが減少したため、国際輸入部門の売上高は前年同期間比0.8%減少し8億82百万円余の計上となりました。その結果、国際部門の売上高は前年同期間比3.6%増加し12億81百万円余、セグメント利益は前年同期間比32.9%減少し10百万円余の計上となりました。

④その他

船内荷役、港湾関連及び倉庫業等の売上合計は前年同期間比7.7%減少し67百万円余となり、セグメント利益は前年同期間比1百万円余増加し16百万円余の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入22百万円余を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億14百万円余増加し、100億87百万円余となりました。流動資産は1億26百万円余増の36億9百万円余、固定資産は11百万円余減の64億78百万円余であります。流動資産増加の主な要因は、立替金の増加等によるものであります。固定資産減少の主な要因は、減価償却による減少等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ18百万円余増加し、46億8百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、58百万円余増加し28億41百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金及び賞与引当金の増加等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、37百万円余増加し、26億36百万円余となりました。これは、その他投資有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月14日公表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 882,601 | 869,106 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,694,378 | 1,582,097 |
| 繰延税金資産 | 90,932 | 90,932 |
| 立替金 | 716,272 | 779,426 |
| その他 | 100,985 | 290,992 |
| 貸倒引当金 | △2,224 | △3,550 |
| 流動資産合計 | 3,482,945 | 3,609,004 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,634,198 | 1,605,975 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 55,735 | 53,742 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 8,477 | 8,683 |
| 土地 | 1,781,656 | 1,781,656 |
| リース資産(純額) | 122,565 | 116,315 |
| 有形固定資産合計 | 3,602,633 | 3,566,373 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 34,560 | 34,560 |
| その他 | 274,641 | 281,534 |
| 無形固定資産合計 | 309,201 | 316,095 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,279,586 | 1,380,152 |
| 差入保証金 | 779,453 | 779,199 |
| その他 | 541,823 | 455,895 |
| 貸倒引当金 | △23,235 | △19,351 |
| 投資その他の資産合計 | 2,577,627 | 2,595,895 |
| 固定資産合計 | 6,489,462 | 6,478,363 |
| 資産合計 | 9,972,407 | 10,087,368 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 1,377,425 | 1,269,368 |
| 短期借入金 | 2,578,658 | 2,635,658 |
| リース債務 | 40,139 | 40,162 |
| 未払法人税等 | 115,084 | 28,910 |
| 賞与引当金 | 185,220 | 279,720 |
| その他 | 293,588 | 354,961 |
| 流動負債合計 | 4,590,115 | 4,608,781 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,117,554 | 2,187,889 |
| リース債務 | 91,839 | 85,404 |
| 長期末払金 | 165,168 | 179,184 |
| 繰延税金負債 | 172,539 | 201,576 |
| 役員退職慰労引当金 | 82,445 | 53,098 |
| 退職給付に係る負債 | 153,635 | 134,689 |
| 固定負債合計 | 2,783,182 | 2,841,843 |
| 負債合計 | 7,373,298 | 7,450,624 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 735,000 | 735,000 |
| 資本剰余金 | 170,427 | 170,427 |
| 利益剰余金 | 1,362,313 | 1,338,967 |
| 自己株式 | △9,352 | △9,440 |
| 株主資本合計 | 2,258,388 | 2,234,954 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 322,073 | 381,180 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 18,647 | 20,608 |
| その他の包括利益累計額合計 | 340,720 | 401,789 |
| 純資産合計 | 2,599,109 | 2,636,743 |
| 負債純資産合計 | 9,972,407 | 10,087,368 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|---|---|---|
| 営業収入 | 3,373,574 | 3,466,591 |
| 営業費用 | 3,173,586 | 3,220,014 |
| 営業総利益 | 199,987 | 246,576 |
| 一般管理費 | 249,375 | 257,992 |
| 営業損失(△) | △49,387 | △11,415 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 13,401 | 14,109 |
| 持分法による投資利益 | 10,202 | 9,666 |
| その他 | 13,303 | 19,346 |
| 営業外収益合計 | 36,907 | 43,122 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 21,716 | 21,253 |
| その他 | 3,985 | 943 |
| 営業外費用合計 | 25,701 | 22,197 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △38,182 | 9,509 |
| 特別利益 | | |
| 出資金売却益 | - | 64,956 |
| 特別利益合計 | - | 64,956 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 0 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△) | △38,182 | 74,466 |
| 法人税等 | △16,062 | 24,466 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △22,119 | 49,999 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△) | △22,119 | 49,999 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △22,119 | 49,999 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,414 | 59,107 |
| 退職給付に係る調整額 | 31,736 | 1,961 |
| その他の包括利益合計 | 41,151 | 61,068 |
| 四半期包括利益 | 19,032 | 111,067 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 19,032 | 111,067 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------------------|
| | 輸出 | 輸入 | 国際 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 775,881 | 1,307,663 | 1,237,289 | 52,741 | 3,373,574 | — | 3,373,574 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 20,595 | 20,595 | △20,595 | — |
| 計 | 775,881 | 1,307,663 | 1,237,289 | 73,336 | 3,394,169 | △20,595 | 3,373,574 |
| セグメント利益又は損失(△) | △42,314 | △37,504 | 15,441 | 14,989 | △49,387 | — | △49,387 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

2. 調整額△20,595千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|-----------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------------------|
| | 輸出 | 輸入 | 国際 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 875,916 | 1,263,775 | 1,281,866 | 45,032 | 3,466,591 | — | 3,466,591 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 22,635 | 22,635 | △22,635 | — |
| 計 | 875,916 | 1,263,775 | 1,281,866 | 67,668 | 3,489,227 | △22,635 | 3,466,591 |
| セグメント利益又は損失(△) | △23,281 | △15,088 | 10,367 | 16,587 | △11,415 | — | △11,415 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、港湾関連、倉庫業及びその他の事業を含んでおります。

2. 調整額△22,635千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失であります。